

## 令和4年度学校の教育目標と経営方針

### 1 本校教育の基盤

本校は、日本国憲法、教育基本法、学習指導要領並びに福岡県、久留米市教育施策の教育方針を基盤とし、児童及び保護者との地域の実態を勘案しながら、社会の激しい変化に対応し、21世紀の主人公として豊かに生きていく子どもの育成を図る。

また、令和2年度から令和7年度までの6カ年を期間として策定された「久留米市教育振興プラン」に基づくものとする

### 2 学校の教育目標

#### (1)教育目標

豊かな心をもち、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する子どもの育成

- 豊かな心とは、
  - ・ 美しいものや自然に感動する心
  - ・ 正義感や公正さを重んじる心
  - ・ 生命を大切にし、人権を尊重する心
  - ・ 他人を思いやり、社会貢献する心
  - ・ 自立心、自己抑制力、責任感
  - ・ 他者との共生の心、違いを理解し認める心
- 自ら考え、自ら判断し、自ら行動する子どもとは、
  - 「自ら考え」  
自ら問いをもち、その課題解決にむけての手順についての見通しをもつ。
  - 「自ら判断し」  
もの、ひと、こととのかかわりや対話を手がかりにしながら、課題解決の方法を自己決定する。
  - 「自ら行動する」  
課題解決に向けて、主体的に表現したり、根気よく働きかけたりしながら、その結果についての効力感や有用感を味わう。

#### (2)めざす児童像（校訓）

仲よく 正しく 根気よく

- 「仲よく」
  - ・ 相手の立場に立って考える子ども
  - ・ 「いっしょにやろう」と共に高まる子ども

「正しく」

- ・ 自分の考えをもち、豊かに表現する子ども
- ・ 「こんなことをやってみよう」と工夫する子ども

「根気よく」

- ・ あきらめずに根気強くがんばる子ども
- ・ 「最後までがんばろう」とやりとげる子ども

### (3) めざす学校像

- 子どもが規律正しくのびのびと笑顔で生活する楽しい学校
- 子どもと教師の信頼関係のもとに、子どもが自分の力を十分に発揮できる学校
- 師弟同行で清掃に努め、集団の秩序がある外にも内にも開かれた学校

### (4) めざす授業像

- 「ひ」とりひとりが生き生きと活動し、考えや意見を交流しあう授業
- 「よ」くがんばったねと、小さな伸びを認め大切にする授業
- 「し」っかりと自分の考えをもち、個性が発揮できる温かな授業

### (5) めざす教師像

- 教育に情熱をもち、豊かな人権感覚、人間性をもった教師
- 自ら研修に励み、豊かな知識をもち、わかりやすく指導する教師
- 笑顔で積極的に声をかける誠実で明るい教師

## 2 本校の経営課題

### 【教育課題】

- 自他の生命や他者を尊重する意志や実践力の育成
- 根拠を明確にした表現力と交流による思考力の育成
- 心身共に健康で、運動に親しむ習慣の育成

### 【経営課題】

- 実践的な指導力の向上と学校文化の継承
- 働き方改革の推進と子どもと向き合う時間の確保
- Chromebook を効果的に活用した GIGA スクール構想の推進

## 3 本校経営の基本方針

- (1) 日吉小学校の伝統を継承し、特色ある教育活動を推進する。
- (2) 確かな学力の定着と子どもの学びを保障する研修の充実を図る。
- (3) 一人ひとりが大切にされる学校を目指し、人権尊重の視点にたった学校づくりを推進する。
- (4) 学校の教育目標達成に向けて、組織的、協働的な学校運営を推進する。

#### 4 本年度の重点目標

### 子どもの主体的・対話的で深い学びを育む安心・安全な教育活動の展開

#### (1) 重点目標の意味

子どもが成長していくためには、自分の思いを自由に表現したり、未知の世界に積極的に挑んだりできる安心・安全な環境が必要である。ここでいう安全・安心な環境とは、ありのままの自分を認めてくれる仲間の存在などの心理的・物理的な環境、学びの方向性や意志決定の在り方を見通せる教育的な環境などを意味している。

引き続き、これらの環境を見直し、整備することで子どものより深い学びにつなげていきたいと考え重点目標として設定する。

#### (2) 重点目標設定の背景と方向性

##### ○ 心理的・物理的環境面から

本校の児童は、地域、保護者から温かい目で見守られ、基本的な学力も身につけている。しかし、周りの目を意識して自分の思いを素直に表現できなかったり、逆に、自分の思いが強すぎて周りの友だちとうまく関係を築けないできつい思いをしたりしている子どもがいる現状が見られる。自分が大切にされ、友だちを大切にすることの温かさ、心地よさを実感し、人との関わりを広げ、深めていこうとする経験を大切にすることが必要である。また、長期にわたるコロナ禍の状況が続き、様々な制限がある中、子どもたちが安全に安心して取り組むことのできる教育活動を行っていくことは重要である。さらに、昨年度より導入した学級編制「単年制」も2年目を迎える。引き続き1年をサイクルとした学級づくりを丁寧に行い、子どもたちの人間関係力を高めていきたいと考える。

そのために、全職員での子ども理解とかかわりを大切にし、情報共有しながら、共通のベクトルで教育活動を展開していく必要がある。

##### ○ 教育的環境面から

令和2年度完全実施の学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められている。また、資質・能力の3つの柱を育てるために「つくる力」「つなぐ力」「つらぬく力」として育成を図っていく。さらにGIGAスクール構想のもと一人一台の端末も整備され、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない個別最適化した学びの実現が求められている。子どもたちに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を考え、授業の工夫・改善を重ねていく必要がある。

#### (3) 重点目標達成のための具体的方針

- 人権カリキュラムの丁寧な実施による人権尊重の学級・学校風土づくり
- 児童自らが豊かな学校生活をつくっていく活動実践の構築
- 校内研修を中心とした実践的指導力（含：ICT指導スキル）の向上